

35 ヒリュウシダ 〈シシガシラ科ヒリュウシダ属〉

指定 昭和45年12月19日 町指定天然記念物(植物)
所在地 原
管理者 屋久島町

常緑性。根茎は塊状、直立かわずかに斜上、葉を叢生し、鱗片を密につける。葉柄は太く、色はわら色から赤褐色、新芽のときにわずかに紫色を帯びることがある。葉身は単羽状、長さ60～150^{センチ}、幅25～45^{センチ}、無毛である。羽片は、ふつう30～50対くらいで斜上し、先端に向けて、次第に狭くなる。

ヒリュウシダは、アジアとオセアニアに雑草のように広く分布するが、日本では屋久島から琉球にかけてと小笠原列島で、山麓の原野や、やや明るい山林下に生息する。屋久島では、かつては南部によく自生していたが、乱獲により、自生状態では、ほとんど見られない。